

血流改善を前提とした TIMERS による CLTI 創傷管理～WOCN の役割～

¹社会医療法人大道会 森之宮病院安西 美恵¹、黒川 双葉¹、山崎 千夏¹

【背景】包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）では血流改善が創傷治癒の前提であり、血行再建後の適切な局所管理が予後を左右する。当院下肢救済センターでは、皮膚・排泄ケア特定認定看護師（WOCN）が医師と協働し、TIMERS に基づく創傷評価と局所管理を実践している。【目的】血流改善後の CLTI 患者に対する TIMERS を活用した創傷管理の実践を報告し、WOCN の役割を検討する。【方法】5 か月間に実施した創傷回診約 1,700 件を対象とした。回診は循環器内科医、形成外科医、看護師、臨床工学技士、理学療法士ら多職種で行い、血流評価・血行再建状況を踏まえて TIMERS に沿った創傷評価を実施した。評価に基づき、デブリードマン、外用薬・創傷被覆材の選択、創周囲皮膚の保護、NPWT の導入・管理等を行った。【結果】WOCN が実施したデブリードマンは 60 件以上、NPWT 導入・管理は約 40 件であった。Tissue への介入が多く、超音波デブリードマンにより出血や疼痛を最小限に抑えながら壊死組織を除去した。Moisture では滲出液量に応じた被覆材を選択し、Edge では創縁・創周囲皮膚を保護した。Repair では NPWT やコラーゲンシート等の使用、Social ではフットウェアによる除圧や MSW と連携し退院支援を実践した。【考察】CLTI では血流改善を前提に TIMERS を活用することで、多職種間で創傷評価と治療方針を共有し、適切な局所治療や再発予防につなげることができた。WOCN は創傷評価と局所治療の実践・提案に加え、多職種をつなぐ役割を担い、創傷管理の標準化と質の向上に寄与した。